

今週のビルマのニュース 2008年4月18日【0808号】

「ビルマに対しても、米、オーストラリア、カナダは既に特定対象人物・法人の取引を停止する金融措置をとっている。北朝鮮に効いたこの措置に日本も加われば効き目は増す」
—日本経済新聞「風見鶏（伊奈久喜編集委員）」（4月13日）

今週の主なニュース：国民投票をめぐる対立続く

軍政が起草した憲法案の是非を問う国民投票（5月10日に予定）をめぐり、アウンサンスーチー氏率いる国民民主連盟（NLD）や88世代学生グループなどに続き、反対票投票を呼びかける団体が増えた。一方、地元当局が賛成票を入れるように住民に圧力をかけたり脅迫したりしたという報告がビルマ各地からあった。

軍政は10日、ラングーンなどで憲法草案の販売（1冊1ドル）を開始した。地方での販売状況は不明。

その他：タイに密入国したビルマ人54人がトラックで窒息死、ほか

・就労するためあっせん業者を使ってタイに不法入国したビルマ人54人が、プーケットに向かうトラックの貨物室内で窒息死した。同じ貨物室にいた67人は生存。軍政下で経済が低迷しているビルマからは、100万人以上が移民労働者としてタイで働いていると言われる。

・ビルマが新年を迎え、正月行事の水かけ祭りに市民が参加した（東京でも27日に水かけ祭りが行われる予定。詳しくは下記「イベントなど」参照）。

ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

今週の約束発表はなし。

平成19年（2007年）度の対ビルマ ODA は以下の通り（約束ベース、外務省ウェブサイトより）。

- 一般無償資金協力（3件、計6億7200万円。前年度から3200万円増）
- 草の根・人間の安全保障無償資金協力（26件、計192万2717ドル。1ドル=101円で換算すると約1億9400万円）
- 日本 NGO 連携無償資金協力（4件、計5413万475円）
- 緊急無償資金協力（1件、約2億1700万円）
- 緊急援助（1件、約1000万円相当の物資）

イベントなど

★4月27日～30日、ビルマの民族問題に詳しいイギリスのベン・ロジャーズ氏がカチン民族機構の招待で初来日予定。在日ビルマ人団体や日本の NGO、国会議員や外務省、報道関係者と情報交換をする。

・日本ビルマ救援センター月例学習会「カレン民族同盟（KNU）の揺らぎ—書記長の暗殺から」講師：宇田有三さん（大阪ボランティアセンター、18日19時～）

・アースデーイベント「ミャンマー軍事政権に抗議するポエトリーリーディング」いとうせいこうさん他（代々木公園野外ステージ、19日14時～）

・日本ビルマ救援センター「2008年春・国境訪問報告会」（クレオ大坂、20日18時～）

・メーデー中央大会にビルマ日本事務所が出店、在日ビルマ市民労働組合らデモ行進に参加予定。（代々木公園、26日10時～14時半）

・ビルマのお正月「ダジャン水かけ祭」（東京・王子 飛鳥山公園広場、27日10時～17時）

・「ビルマ東部で何が起きているのか？～紛争・開発・難民 日英若手専門家の報告」ベン・ロジャーズ、秋元由紀（豊島区民センター6階文化ホール、27日18時～）

・ビルマの宗教の自由のための特別礼拝（新宿区立新宿消費生活センター4F、29日正午～14時半）

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo/>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org/>

お問い合わせ
ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165